

施策・基本事業評価表

優先度:成果＝高。財源＝中。●かんきょう課 都市対策課

番号	施策名	施策の対象	施策の意図	区分	施策の成果指標(単位)	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	前期 目標値	24年度	28年度 (目標値)	評価	評価の判定理由と原因分析の説明	今後の取り組み等
2-1	自然環境の保護と環境意識の醸成	市内の生命体	自然環境保護に関する取り組みや、地球・資源を大切にしている行動が定着化している。	成果	市内の自然環境について満足している市民の割合(%)	82.9	80.2	82.2	83.8	87.0	87.9	88.3	▲	87.6	▲	順調	前年度から0.7ポイントの低下であるが、平成21年度以降は前期目標値の85%を超えており、平成28年度の目標値である90%にも迫っている。	平成24年度の筑後市環境基本計画策定に伴い、筑後市広報(かんきょうレポート)等を通じて身近な自然環境を大切にしようとする意識の啓発に取り組む。 また、行政機関のほか様々な団体とも連携を図り、講座等開催することにより自然環境保全の取り組みを推進する。
				成果	環境にやさしい生活をしている市民の割合(%)	20.0	23.1	22.0	22.4	23.4	21.2	24.0	▲	26.4	▲	順調	平成24年度の指標は、前年比2.4ポイント改善し26.4%となっているが、前期目標の30%には届いていない。アンケート結果では微増傾向にはあるものの、地球温暖化の進行が危惧される現状においては、省エネ行動や3R等の推進に向けた啓発強化が必要である。	平成24年度に策定した筑後市環境基本計画に基づき、あらゆる分野で行政、市民、市民団体、事業者の4者が連携しつつ、学習の機会等を通してそれぞれが担うべき役割を明確化します。 特に、地域で活動を行っている環境団体、事業者等の活動、イベント情報などを市ホームページや広報で周知します。
				成果	水質汚濁に関する環境基準をクリアした測定地点の割合(%) 山ノ井川 花宗川 松永川 倉目川 5～9月 BDT値:3mg/l以下 10～4月 BDT値:5mg/l以下	91.7 100.0 90.0 37.5	100.0 100.0 100.0 57.1	100.0 100.0 100.0 50.0	100.0 100.0 91.7 37.5	100.0 100.0 72.7 50.0	95.0 100.0 91.7 73.3	95.0 100.0 90.9 56.3	100.0 100.0 100.0 50.0	90.0 100.0 91.7 50.0	100.0 100.0 100.0 80.0	横ばい	倉目川については状態が良くないが、以外の河川は概ね基準をクリアしている。流域の事業所排水に問題があるとの相談もあるが、倉目川の水源が溜池であり、水量が乏しい上、家庭からの生活排水も集中している事もあり、改善の目途はたっていない。	家庭系については、浄化槽整備事業の推進をより一層進めていく必要があり、汲み取りや単独浄化槽から合併浄化槽への取り換え工事を推進するチラシ等の啓発活動を行なう。また、清掃や保守点検などの維持管理の徹底方法も検討する。 事業所排水の適正化については、啓発活動や実態調査を行います。また、公共下水道事業の推進を図ることにより公共用水域の水質改善を図ります。
				成果	大気汚染に関する環境基準をクリアした測定地点の割合(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

番号	基本事業名称	基本事業の対象	基本事業の意図	区分	基本事業の成果指標(単位)	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	前期 目標値	24年度	28年度 (目標値)	評価	評価の判定理由と原因分析の説明	今後の取り組み等
01	地球環境にやさしいライフスタイルの実践(もったいない運動の推進)	・市民 ・事業所	市民や事業所などが、自然環境保全の重要性を理解し、省エネ等の環境にやさしい活動を実践している。	成果	環境にやさしい生活をしている市民割合(%) ※施策と同じ成果指標を設定	20.0	23.1	22.0	22.4	23.4	21.2	24.0	▲	26.4	▲	順調	平成24年度の指標は、前年比2.4ポイント改善し過去最高の26.4%となっているが、前期目標の30%には届いていない。アンケート結果では微増傾向にはあるものの、地球温暖化の進行が危惧される現状においては、省エネ行動や3R等の推進に向けた啓発強化が必要である。	平成24年度に策定した筑後市環境基本計画に基づき、あらゆる分野で行政、市民、市民団体、事業者の4者が連携しつつ、学習の機会等を通してそれぞれが担うべき役割を明確化します。 特に、地域で活動を行っている環境団体、事業者等の活動、イベント情報などを市ホームページや広報で周知します。
				成果	環境保全のための取り組みを行っている事業所の割合(%)	16.1	23.2	21.1	21.5	23.1	26.4	31.8	25.0	21.9	30.0	不調	平成24年度の事業者アンケートは、例年と異なり、環境基本計画の策定に向けた独自の調査に包含したことから、平成23年度までのサンプル約300と比較して回答数が73事業所と少なかったため、正確な評価、分析ができなかった。	平成24年度に策定した筑後市環境基本計画では、事業者による職場内の節電や省エネタイプの事務機器への買い替えなど事業活動に伴う環境負荷の削減を図ることとしている。商工会議所の広報誌や機関会議等の場を利用して、事業所に対する環境保全への啓発を推進する。
02	河川等の環境保全	・市民 ・事業所 ・行政	市民や事業所などの意識が高まり、河川などの環境保全のための行動を起こしている。	成果	川と水を守る運動、矢部川美化ノーボイ運動参加者数(人)	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	横ばい	開催日が雨天であったことに加え、延期及び中止の行政区があったことにより参加者数は大きく減少した。また、参加者の高齢化が進む中、若年層の参加呼びかけに努めたが大きな効果は得られなかった。	地域の壮年層・若年層の参加拡大をめざし、広報での参加呼びかけを強化するとともに共同住宅、事業所などの参加率向上に向け、チラシ配布による啓発を行う。

番号	基本事業名称	基本事業の対象	基本事業の意図	区分	基本事業の成果指標(単位)	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	前期 目標値	24年度	28年度 (目標値)	評価	評価の判定理由と原因分析の説明	今後の取り組み等
03	みどりの保全・育成	・市民	市民や事業所などの意識が高まり、みどりの保全や育成のための行動を起こしている。	成果	みどりの保全や育成のために何らかの活動をしている市民割合(%)	58.8	56.5	52.7	52.5	51.9	47.3	47.9	▲	50.8	▲	横ばい	<p>自然環境に対する市民満足度は依然として高いものの、筑後市には天然の緑地がほとんどなく、水田等の人工的な緑地に囲まれ、荒廃農地が極めて少ないため、みどりの保全や育成に対する意識は伸び悩んでいる。</p> <p>筑後市緑づくり推進協議会や地域公民館活動による花づくり運動など、各種団体による緑化活動は活発に行われている。</p> <p>しかしながら、市民レベルでの緑の保全活動等は伸び悩んでいることから、今後も筑後市緑づくり推進協議会を中心とした緑化、花づくり活動の推進を続けていくとともに、各家庭における花壇や生垣の手入れ、緑のカーテンの実践など緑の保全や育成に対するPRや啓発活動を行う。</p>	<p>筑後市緑づくり推進協議会や地域公民館活動による花づくり運動など、各種団体による緑化活動は活発に行われている。</p> <p>しかしながら、市民レベルでの緑の保全活動等は伸び悩んでいることから、今後も筑後市緑づくり推進協議会を中心とした緑化、花づくり活動の推進を続けていくとともに、各家庭における花壇や生垣の手入れ、緑のカーテンの実践など緑の保全や育成に対するPRや啓発活動を行う。</p>